

しらかば

第72号

平成27年
(2015年)

10月

公益財団法人 北海道札幌市東区北26条東14丁目1-15

北海道対がん協会 Tel (011) 748-5511 Fax (011) 748-5512

<http://www.hokkaido-taigan.jp/>

9・10月は北海道がん征圧・がん検診受診促進月間です

当協会は、毎年9月を「がん征圧月間」と定め、がんに関する正しい知識の普及啓発に向けて、様々なイベントを実施しています。(下表参照)

また、北海道が実施する「北海道がん征圧・がん検診受診促進月間」に協力しています。これは、がんを知り、がんと向き合い、がんに負けることのない社会の実現に資するため、北海道、医療機関、検診機関、関係団体、企業等が多数の道民の参加の下、がん征圧及びがん検診の受診促進に向けた取り組みを全道で展開し、北海道全体でがん対策に取り組む機運の醸成を図ることを目的として、毎年9・10月に行われているものです。

月間の共催事業である「がん予防普及パネル展」は、北海道庁1階道民ホールで実施しています。会場には、各がんの概要や検診の方法、日常生活で気をつけることなどの情報が盛り込まれたパネルを掲示するほか、実際に乳がんのしこりを体験できる「乳がん触知モデル」や、道内のがん患者団体・啓発団体の資料を設置します。

今年は8/31(月)～9/2(水)の3日間で、延べ231人の来場がありました。

乳がん触知モデルを体験した女性からは「しこりってこんな感じなんですね。普段は気にしていなかったけど、これからは気をつけて触ってみます。」と話されました。

パネルの内容は順次改訂予定です。健康に関するイベント等に無料で貸出しておりますので、お気軽にお問い合わせください。(担当：経営企画課広報係)

【平成27年度がん征圧月間行事予定】

開催日	開催場所	事業名
8/31(月)～ 9/2(水)	北海道庁 1階道民ホール	がん予防普及パネル展
9/8(火)	・大通 ・北24条駅前	街頭PR (街頭ティッシュ配り)
9/13(日)	釧路がん検診センター	日曜検診とがん予防普及パネル展
9/19(土)	イオン旭川西SC	がん予防普及パネル展
9/1(火) ～9/30(水)	札幌市各区役所・保健センター、 旭川市、釧路市ほか	がん征圧懸垂幕の掲示
9/1(火) ～9/30(水)	旭川市買物公園	がん検診の音声広告
8月下旬	道内医療機関、市町村、関係機関	がん征圧月間ポスターの配布 (詳細は2ページを参照してください)
9月中旬 (予定)	朝日新聞	がん征圧月間特集 (朝日新聞朝刊に2面に渡って特集記事を掲載)
10/9(金)	江別市民会館	第47回がん予防道民大会 (詳細は6ページを参照してください)



9月はがん征圧月間です 街頭啓発を行いました

がん征圧月間の行事の一環として、9月8日（火）、札幌市営地下鉄南北線北24条駅、大通駅周辺で、一般市民にがん検診受診を呼び掛ける街頭啓発を実施しました。協会職員11名のほか、札幌市北区健康をまもるつどいから5名のご協力を得て、総勢16名で実施し、1時間で1,700個のティッシュを配布しました。

「がん検診を受けてください。」と声をかけながらティッシュを配ると、何人かの方から「毎年受けていますよ。」とお返事をいただきました。一方で、特に若い方は、ティッシュを受け取っても「がん？」とキョトンとされる様子が多く見られました。子宮がん検診は20歳から受けられます。より多くの方に知ってもらえるように、啓発媒体を工夫しながら、繰り返し訴えていきたいと思います。

現在、がん検診の受診対象年齢は、厚生労働省の指針で「胃・肺・大腸がんは40歳以上・毎年、乳がんは40歳以上・2年に1回、子宮がんは20歳以上・2年に1回」とされています。特に最近、子宮がん・乳がんが増えています。ご自身だけでなく、ご家族や周囲の方に、がん検診を受診するように呼びかけましょう。



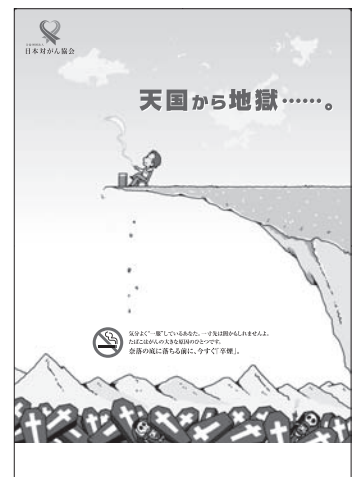
がん征圧月間ポスター・禁煙ポスターと 2015年度がん征圧スローガンのご紹介

当協会では、より多くの方にがんについて考えてもらうことを目的として、「がん征圧月間ポスター」を毎年日本対がん協会から購入し、道内の医療機関や市町村、関係団体へ無償で提供しています。特に医療機関については、北海道医師会と連携し、4,200機関へ配布しています。

がん征圧月間ポスターは平成25年度からデザインコンテスト形式で作成されており、今年度は北海道在住の関花恵さん（東海大学2年）のデザインが最優秀賞に選ばれました。審査員講評では「キャッチフレーズの中に"死"という言葉を使いながら、人生という長い時間の中で前向きにがん検診をとらえたコピーが秀逸だった。」と高く評価されています。

また、がんの予防に禁煙は欠かせません。禁煙をよびかける禁煙ポスターもあわせて購入しています。今年のデザインは明るく和やかな色づかいの中に、「(喫煙を続けると)一寸先は闇」というメッセージが込められており、子どもにもわかりやすい内容になっています。

2015年度のがん征圧スローガンは、「健康が 自慢のあなたも がん検診」に決まりました。日本対がん協会がグループ支部を対象に公募し、寄せられた156作品の中から対がん協会内の選考委員会で審査した結果、茨城県総合健診協会の石川知己さんの作品が最優秀賞に選ばれました。



リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 室蘭

RELAY FOR LIFE 開催

がん患者支援チャリティーイベント、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 室蘭」が開催されました。



日時：平成27年8月29日（土）13：30～30日（日）10：30

場所：道の駅みたら室蘭 隣接ひろば（室蘭市祝津町4丁目）

主催：リレー・フォー・ライフ室蘭実行委員会（公財）日本対がん協会

「リレー・フォー・ライフ（RFL）」とは

1985年にアメリカでランナーでもある一人の腫瘍外科医が、がん患者の生きる勇気をたたえ支援するために、トラックを24時間走り続け、友人から寄付を募ったのが始まり。

現在では地域社会全体でがんと闘うための連帯感を育む場として大きく広がり、世界で25カ国、全米では毎年約5,500カ所の地域で開催され、年間400億円の寄付が集まり、がんとの闘いを支援しています。

日本では2006年に茨城県つくば市で始まり、室蘭は4カ所目、道内初の開催地です。2013年開催地は41カ所まで増え、総額6,851万円の寄付が集まりました。



室蘭でのチャリティーイベントは、8回目を迎えますが、北海道対がん協会は「チーム TAIGAN」として職員とその家族、友人や知人の有志でチームを作り、第1回目より参加してきました。今年は20名での参加。

当日は、室蘭市白鳥大橋のたもとにある、道の駅みたら室蘭横のひろばに道内外から20チーム、イベントには総勢900人が集まりました。

開会式、青山剛室蘭市長の挨拶に続き、北海道医師会会長であり当協会の会長である長瀬清より、「1981年以来、がんは日本の死亡原因の1位に君臨し続けている。皆さんの一人々が、がんに対する意識を高め、検診はめんどくさい、怖くないをスローガンに検診率を上げることで、がんを1位の座から降ろしたい。是非皆さんで声を上げて、ご家族や周囲の方へ、がん検診を受けるように声かけをしてまいりましょう。」とのお話があり、がん経験者だけが歩く特別なウォーク、「サバイバーズラップ」がスタート。

会場の特設ステージでは、同時によさこいが威勢よく披露され盛り上げてくれました。胆振総合振興局のがん検診の促進を図るシンポジウムは、北海道、室蘭のがん対策推進について、胃がん検診とピロリ菌検診ほか、大腸と乳がん検診についての話があり、ステージ前では参加者が真剣に耳を傾けていました。音楽演奏やトーク&ライブは途切れる事なく夜まで続き、リレーウォークの力になりました。

今回の新しい企画としては、看護学生によるフェイスペイントや、スタンプラリー、「1年後の自分への手紙」は会場内に特製ポストが設けられました。体験・啓発ブースでは、RFL特製グッズの販売、凧作り、アロママッサージ、似顔絵のほか、がん治療による皮膚変色を目立たなくするメイクカモフラージュサービス、タオル帽子の講習、管理栄養士による栄養相談、リハビリ実演指導など、がんに関して役立つブースがあり、どのコーナーも盛況でした。

北海道対がん協会からは、CT検診車による肺がん検診と内臓脂肪測定をチャリティー価格で行い、総額4万3千円をRFL実行委員会に寄付することができました。



北海道対がん協会からは、CT検診車による肺がん検診と内臓脂肪測定をチャリティー価格で行い、総額4万3千円をRFL実行委員会に寄付することができました。

夜には、ルミナリエに火が灯され、揺れる炎をみつめながら、がんで亡くなった方や、今がんと闘っている方、がん征圧への思いを巡らせ静かにルミナリエセレモニーが行なわれました。

リレーのタスキは深夜も繋がれ、30日の日の出を迎えました。早朝からあいにくの霧雨でしたが、ステージでは朝から体操やクイズで盛り上がり、ラストウォーク。閉会式では、テーマソング「ビリーヴ」を全員で歌い、目に涙を浮かべる参加者も。寄付金は、仮集計で230万円を超えたと実行委員会より発表があり、最後は24時間希望のタスキをつないだ達成感や感動、それぞれの思いや、がんに負けない社会の実現を目指して白い鳩の風船を飛ばし、感動のフィナーレとなりました。



リレー・フォー・ライフによって集められた寄付金は、主にがんの新しい治療法や新薬開発のため、若手医師育成の為に奨学金、がん検診の推進、専門医によるがん無料「面接」「電話」相談の4つの分野に使われています。

第48回 北海道家族の健康をまもる講習会



平成27年7月3日～4日の2日間、第48回北海道家族の健康を守る講習会が国立大雪青少年交流の家にて行われました。講習会は、「健やかで、いきいきとした生活をおくるために」をテーマに、健康に関する知識をより一層深くするとともに、各地域の親善交流を図り、地域の保健活動を円滑に推進することを目的とし、年1回開催しています。

主催は、北海道健康をまもる地域団体連合会、北海道食生活改善推進員協議会、公益財団法人北海道結核予防会、公益財団法人北海道対がん協会の4団体で、北海道が後援となっています。第48回目となる今回は、4市町村5団体から43名の参加者がありました。

講習会初日では、レクリエーションと全体交流会が行われ、参加者同士の親睦を深めました。レクリエーションではハイキングやパークゴルフ、バッヂ作りや卓球など自然の中で身体を動かし、全体交流会では各団体紹介や事務局団体のミニ講演を行いました。ミニ講演では実際の食事を前にした塩分量の比較や、乳がんの触知モデルでしこりに触れる体験、肺年齢測定体験をしながら、交流を図りました。

2日目は講師を招き、2講演が行われました。1講演目は、公益財団法人結核予防会 事業部普及広報課 市川雄司氏による「結核予防会本部が実施している普及広報活動の現状と課題」。普段あまり知る機会のない広報活動について現状と課題を話されました。2講演目は、旭川医科大学 産婦人科 加藤育民先生による「女性の未病について一検診は必要！健康は素晴らしい」。子宮がんや乳がん、骨粗鬆症について最新の情報を話されました。

北海道家族の健康をまもる講習会は、来年で49回目となり、7月初旬に予定されています。地域保健活動に興味のある方はどなたでも参加できますので、開催日時、参加方法等、詳しくは当番事務局までお問い合わせください。

第49回講習会 当番事務局
(公財)北海道対がん協会
TEL 011-748-5511

「あなたに役立つがんのおはなし」 ～草の根・健康講話～

るには、身近な人の一言のほうが効果的だろうというのが、町内会に着目したきっかけでした。当協会と関わりの深い地区組織の協力を得て、現在までに8か所で実施し、265名が受講。非常に好評を得ています。

町内会となると、家庭の主婦、それも子供が自立した中高年女性が多いです。健康教育といえば、パワーポイントで最新のデータをふんだんに盛り込んでというのが主流ですが、この講話では、あくまでも長瀬会長が話すという点にこだわっています。聞く方も、ゆっくり、じっくり耳を傾けるし、それでもわからなければ質問もできます。おかげで「わかったつもり」が少なくなり、記憶に残る時間が長くなっているように感じます。そして、家に帰ってから、家族や友人へも伝達するように伝えているので、受講者数以上の波及効果も期待しています。

健康教育の効果をはかるのは難しいですし、北海道という広大な地域性からマンパワーに限界がありますが、今後も住民へ直接訴えかける、地道なこの草の根運動を大切にしていきたいと考えています。もちろん講演料はいただいておりません。この講話を希望される場合は、経営企画課広報係までお問い合わせください。



アットホームな雰囲気の話

❖ 北海道がん対策基金 実施状況 ❖

❖ 北海道がん対策基金とは？

「がんになっても安心して暮らせる社会づくり」を目標に、全ての道民が一体となってがんの克服とともにがん患者やその家族の方々を社会全体で支える仕組みとして、平成27年2月、北海道が中心となり、道内企業をはじめ各種団体や道民の皆様などからの募金や寄付を財源とした基金を設立いたしました。

今後、本基金をもとに、皆様とともに「がんに負けない社会」の実現を目指して様々な取組みを進めてまいりますので、継続的なご支援・ご協力をお願い申し上げます。

助成事業の募集を行いました

北海道内に拠点を置き、活動を展開している団体を対象に、1件あたり50万円を上限に事業費を助成します。

本年度に寄せられた募金や寄付を基に、がん検診受診促進・がん教育・がん患者等相談支援・がん情報提供等のがん対策を推進する事業を平成27年8月5日～8月28日に募集しました。

助成の対象となる事業は以下の通りです。

(1) がん検診受診促進事業

(事業の例) がん検診受診率向上のための広報活動等



(2) がん教育推進事業

(事業の例) 専門医などを学校に派遣するがん教育等



(3) がん患者等相談支援事業

(事業の例) ピアサポーターなどによる患者やご家族の方々の療養生活や就労の相談等



(4) がん情報提供事業

(事業の例) がんの知識や理解を深めるためのイベントの開催、啓発資料の作成、地域の療養施設の情報提供等



(5) その他事業

北海道がん対策基金運営委員会審査・評価部会(以下、「審査・評価部会」という。)が必要と認めた事業

お問い合わせ

○(管理・運営)公益財団法人北海道対がん協会

TEL (011) 748-5511

○北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策・健康づくりグループ

TEL (011) 204-5117

募金状況

8月31日現在の募金状況は

9,731,955円



引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

募金額の内訳

基金自動販売機

設置先	台数	合計金額
独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	2	60,205
山崎製パン(株) 札幌工場	2	32,908
(株)モロオ	18	26,437
一般社団法人 北海道医師会	1	13,332
日本データサービス(株)	1	7,048
北海道医療大学	1	1,528
設置先非公開	2	1,047
(株)北谷組	1	547
次世代ゴルフフィットネス AQUA札幌	1	342
ノルデン薬局北栄店	1	290
(株)ほくやく竹山ホールディングス	1	111
公益財団法人 北海道対がん協会	1	5,858

一般寄付・募金箱

法人	4件	5,340,600
個人	104件	4,239,702
募金箱		2,000

募金の方法

○口座への振り込みによる募金 ○イベント会場での募金

○協賛商品の購入による募金 ○直接寄付・募金

振込口座

北洋銀行 札幌南支店

(口座番号) 普通 4591650 (口座名) 北海道がん対策基金

※本・支店に備え付けの振り込み用紙により窓口で振り込んだ場合、振込手数料が無料になります。

北海道銀行 札幌駅前支店

(口座番号) 普通 1877125 (口座名) 北海道がん対策基金

※本・支店に設置の現金自動預け払い機(ATM)で振り込んだ場合、振込手数料が無料になります。

ゆうちょ銀行

(口座番号) 02740-9-102016 (口座名) 北海道がん対策基金

第47回 がん予防道民大会 in 江別

【大会プログラム】

12:00	受付開始
12:45	アトラクション
13:00	開会、挨拶、表彰、祝辞
13:35	特別講演
14:35	健康講話（トーク&ライブ）
15:35	次期開催地挨拶
15:40	閉会

【アクセス】



〒067-0074
北海道江別市高砂町 6 番地
TEL 011-383-6446
FAX 011-381-1077

- JR（函館本線）
JR高砂駅より 徒歩 約10分
- ジェイ・アール北海道バス（江別線）
札幌・新札幌方面 江別市役所前より 徒歩 約1分
江別方面 江別市役所前より 徒歩 約5分
- 北海道中央バス（江別2番通線）
市役所通（2番通沿い）より 徒歩 約5分
- 夕鉄バス（江別線）
市役所通（6丁目通沿い）より 徒歩 約5分



特別講演

「がんを知り、 がんに負けない2015」

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター院長

近藤 啓史 氏

健康講話

「トーク&ライブ 人と和する音楽」

シンガーソングライター
桜庭 和 氏
(江別市在住)



**入場
無料**

日時 平成27年 **10月9日** 金
(12時00分開場) **13時00分～15時40分**

場所 **江別市民会館**
江別市高砂町6番地

**申込
不要**

主催／北海道・公益財団法人 北海道健康づくり財団
江別市・公益財団法人 北海道対がん協会

お問い合わせ 江別市保健センター TEL. 011-391-8036
北海道対がん協会 TEL. 011-748-5511